

新倉喜代司先生が弓道「範士」に

「大網白里市弓友会」創設以来の会員で、現在「師範」でもある新倉喜代司先生が5月18日、全日本弓道連盟から「範士」の称号を授与されました。



「範士」の称号は、全日本弓道連盟が定める最高位の称号で、射技射法を体得され、人格、見識に優れた弓界の模範である者に与えられます。新倉先生は第116番目「範士」とのことです。

新倉先生は1936年生まれ。勤務先の部活動で弓道を始められ、弓歴は46年を数えます。これまで全日本弓道選手権大会や国体など全国大会に多数出場し、ご活躍されました。

現在「範士八段」。千葉県弓道連盟副会長の要職に就かれ、千葉県弓道連盟の指導者であるとともに、私ども「大網白里市弓友会」のまた、本市教育委員会「弓道教室」の指導にあたっておられます。

毎朝2時間歩くこと、午後は弓を引くことが日課とか。一つの事を継続させる秘訣はと、伺いましたところ「自分に厳しく、他人に優しく」と、また「これからも本市のみならず、全国の弓道の普及、発展に尽力していきたい」と話しておられました。

(2106.09.17：大網弓友会・井良沢朝夫)

